

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| V. サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|------------------|
| 事業所名 | マザアスホーム だんらん柏 |
| (ユニット名) | マザアスホーム だんらん柏 |
| 所在地 (県・市町村名) | 千葉県柏市酒井根字堀込21-6 |
| 記入者名 (管理者) | 廣瀬 寿美子 |
| 記入日 | 平成 19年 11 月 23 日 |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|------------------|--|---|---------------------|--|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | | |
| 1. 理念の共有 | | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 住み慣れた地域の中での生活の継続を目指す。 | ○ | 地域の方の協力により地域行事への参加、地域学校行事への参加、 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み | 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員には日々説明し、ミーティングの際確認地域の中での生活の継続に取り組む | ○ | 地域密着型施設の意味その人らしい生活をどのように支援していくか職員が統一した考えのもとに勉強を重ね携わりたい |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 | 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 地域の方の積極的なボランティア受けいれにより家族を巻き込んだ行事の参加 | ○ | お一人お一人の気持ちを大切にご家族地域の協力のもとその人らしい生活を支援していく |
| 2. 地域との支えあい | | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい | 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩の途中の挨拶や声かけは積極的に行う取り組んでいます。 | | |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい | 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の文化祭、行事等に参加、出品等する事で地域との交流を図る。 | | |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 | 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 地域の中学校からの要請で福祉授業に協力し子供達に高齢者や認知症の方への理解に努めてもらいます。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 | 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 平成16年6月にオープン後、3度目の外部評価を受けその都度改善を行う。 | | |
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議を行う事で地域の中でその人らしい生活を支えて行く為の話し合い意見を聞ける。 | | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 | 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 柏市は市役所の協力のもとグループホーム連絡会を立ち上げ、話し合いや研修、交流会をする事で情報の交換、質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 権利擁護に関する研修会に参加し理解すると共に必要な人には活用している。(現在1人) | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 市役所の研修会や事業所独自の研修をして防止に努めている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---------------------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 | 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には面接を行いその方の希望を優先し理解、納得を計っている。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 | 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 管理者、職員は利用者が心配は無いかなど常に気を配り話し相手になっている、又毎月外部から介護相談員を受け入れている。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 | 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月ご家族に文書にて一人一人の状況を報告、連絡しています。毎月10日発送「だんらん通信」 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 | 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情相談窓口を設け管理者、及び事業所が対応にあたっている。 | | |
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 | 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月、ミーティングをし話し合っている。 | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 | 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 緊急の状況の際は事業所からの応援体制が出来ている。 | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 | 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員が退職希望の時は2ヶ月前に申し出る事になっており利用者のダメージを最小限に抑えている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み | 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者やサービス計画担当者は法人内外の研修をその都度受け又虐待、成年後見人制度、身体拘束に関しても随時研修を受けている。 | | |
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 | 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市役所の協力のもとグループホーム連絡会を立ち上げ、話し合いや研修、交流会をする事で情報の交換、質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み | 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 毎年職員の忘年会等全員出席で行っている | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み | 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 定期的に職員の面接を行い向上心を持って働けるよう勤めている | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 | 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 短期のサービス計画を立てると共に職員同士状況を共有しながら常に気に留め話を聴いて環境に慣れていただいている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む) |
|---------------------------------------|----------|--------------------|---|--|-------------------------|--|
| 自己 評価 | 外部 評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 | 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 入居時には重要事項説明書(常時玄関に置いてあります)にて説明していますが、疑問があればいつでも説明できる状態にあります。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 | 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談毎に話を良く聴き支援を見極めています。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 | 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に食事をしていただいたり、他の御入居者との話をする機会を設けている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | その人らしい生活を支えるため職員は日々係わりながら信頼関係を築いています。 | | |
| 28 | | 本人を共に支えあう関係 | 家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 管理者は常に家族とのコミュニケーションをとり相談しながら本人を支えています。 | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 | これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 全員の家族が集まれる機会を作りより良い関係作りを支援している。 | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 部屋には馴染みのものを置いてその人らしい生活の継続を支援しています。 | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 | 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 自然な形で入居者同士が係わり、支えあえる雰囲気作りに努めています。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み | サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 一人一人の気持ちや状況を大切に退所後の係わりを大切にしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 生活歴、趣味、状態を把握しその人らしい生活ができるよう努めている。 | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 | 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | アセスメントシートを職員全員で記入、それぞれに気がついた事等を書き添えアセスメントする。ご家族にも協力頂く。 | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 | 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 毎日の申し送りや共通理解シートでその方の状態を職員が常に把握し対応している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 定期的に見直し介護計画を作成している、状態の変化のある時はその都度見直しカンファレンスを行ない見直ししている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む) |
|-----------------------------|----------|--------------------|---|---|-------------------------|--|
| 自己 評価 | 外部 評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し | 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 同上 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日その方の様子を記録に残し介護に当り介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 | 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本体のマザアス南柏の応援体制が常に出来ている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 | 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | ボランティアの受け入れ、地域の協力を積極的にお願いしている。 | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 | 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 本人の気持ちを大切に考え支援している。 | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 | 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 本人の状態に合わせ協力をお願いしています。 | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 | 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 必ず家族、本人と話し合い決めています。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 | 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 主治医(看護師)に管理者や職員が常に相談できる状況を作っています。 協力病院: 向小金クリニック・旭神経内科 | | |
| 45 | | 看護職との協働 | 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 同上 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 | 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | ご家族と、本人と話し合いよりよい状態になるよう努めている。本体のマザアス南柏と連携体制が整っている。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 | 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 母体であるマザアス南柏と連携をとり家族、主治医と話し合い対応している。 | | |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 | 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 同上 | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む) |
|-------------------------------------|----------|------------------------|---|---|-------------------------|--|
| 自己 評価 | 外部 評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 49 | | 住み替え時の協働による ダメージの防止 | 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 十分な話し合いを行いダメージを防ぐ事に勤めている。情報提供書に記入し話し合いを行なう。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 | 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 一人一人の方の尊厳を大切に対応している。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 | 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | その方が何をしたいのか、又は言いたいのかかを職員は考え常に係わっています。 | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員は常に一人一人の都合を考え支援しています。 | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 | その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 一人一人の都合に合わせてしています。本人に確かめてから対応している。 | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備から片付けまで利用者と供に行なっています。その方により異なりますがほとんどの方が自然に行ってくれます | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 | 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | その方にあわせて支援しています。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 一人一人の排泄パターンを掴み誘導や声掛けを行い気持ちよく排泄出来るよう支援しています。 | | |
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 | 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | なるべく希望にあわせて支援しています、 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | その方の状況にあわせて支援しています | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 生活歴に合った支援をしています。華道や書道、絵など携わる事が出来る場面作り | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 一人一人の状況によりご家族、本人と相談し支援しています。お財布を所持している方は 8人です。 | | |
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 | 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩や買い物、外食等できる限り支援しています。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む) |
|-----------------------------------|----------|--------------------|---|--|-------------------------|--|
| 自己 評価 | 外部 評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 | 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | ご家族と相談しながら支援しています。家族旅行等は行かれています。 | | |
| 63 | | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 常に支援しています。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 | 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 気軽に訪問でき過ごせるようその都度支援しています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 | 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は禁止しており職員も理解しています。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 | 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 本人、家族の希望に沿い門の鍵はかけています。(外部からの危険防止のため) | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 | 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常に配慮しています。部屋で過ごされている時は1時間に1度声掛けします。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 | 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 見守りの中で使用して頂いています。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み | 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 勉強会や研修を受け、事故の起きたときは事故報告書により再発を防ぐ為事故防止に取り組んでいます | | |
| 70 | | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 救急救命訓練を受け又ホーム内でも訓練をしています。 | | |
| 71 | 27 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 火災、地震の訓練は4月と10月にしています。 | | |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い | 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | その方らしい生活を送る為のリスクについて話をし説明しています。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 | 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 職員、看護師、医師と連携し対応しています。 | | |
| 74 | | 服薬支援 | 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 職員は現在その方が服薬していく薬を把握し副作用を理解したうえで支援している。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 | 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎日の食事、水分摂取量を把握し食事の内容、運動量に気をつけている。(毎日の体操や散歩等) | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後その方に合う口腔衛生を行っている | | |

| 項目番号 | | 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んでいき たい項目) | 取り組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む) |
|--------------------------------|----------|--------------------------|---|--|-------------------------|--|
| 自己 評価 | 外部 評価 | タイトル | 小項目 | | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の 支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | その方の状態に合わせ支援しています。 | | |
| 78 | | 感染症予防 | 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症マニュアルを作り支援している、又外出先からの帰宅の際には手洗い、うがいを徹底し職員は出勤時手洗いうがいの徹底、ご家族にも依頼している。 | | |
| 79 | | 食材の管理 | 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理点検表にて衛生管理をしています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | | |
| 80 | | 安心して出入りできる玄 関まわりの工夫 | 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 季節の花を植え、ベンチを置いて安心して過ごせるよう工夫しています。 | | |
| 81 | 29 | 居心地のよい共用空間づ くり | 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングには花を飾り本を置き、ピアノを置き皆で楽しく歌を歌います、常に心地よい空間づくりを心掛けています。 | | |
| 82 | | 共用空間における一人ひ とりの居場所づくり | 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 一人になりたい時は部屋で過ごし利用者同士過ごしたい時は廊下やリビング、ベランダ、庭で過ごされます。 | | |
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室 の配慮 | 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 馴染のものを部屋に置き居心地良く過ごせるよう工夫しています。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 | 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 毎朝換気を行い常に室温の調節を心掛けています。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全 な環境づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建設の際充分配慮して作られているがその方に合う環境整備をその都度検討してま | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境 づくり | 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | トイレや浴室には分かりやすく表札をし、混乱の無い様に見守り誘導をします。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活 用 | 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | ベランダには常に花とベンチを置きくつろげる雰囲気をつくっています。 | | |

(様式1)

自己評価票

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|-------------------------|------|---|--|
| 自己評価 | 外部評価 | タイトル | |
| V. サービスの成果に関する項目 | | | |
| 88 | | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ①ほぼ全ての利用者があるところへ出かけている ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどいない |
| 96 | | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|----------|----------|---|---|
| 自己 評価 | 外部 評価 | タイトル | |
| 97 | | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 98 | | 職員は、生き活きと働けている | ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 99 | | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 100 | | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない |